

05 入園について

「うちの子は～の傾向があるって言われたけど、普通の園に行けるのかな?」「発達がゆっくりで凸凹もあるって言われたけど、復職するから長時間預かってくれるところがいい」など、入園についての心配やニーズは、ご家庭により様々です。

お子さんを預かる場所としてすぐに思い浮かぶのは、「こども園」「幼稚園」「保育園」だと思います。その他、「小規模保育施設」等も近年は増えてきました。また、診断がついて所定の手続きを経て利用できる「児童発達支援」など、専門的な支援を受けられる場所もあり、通常の園に通いながら児童発達支援を併行して利用するお子さんもいます。(児童発達支援事業所については24ページの「07 児童発達支援事業所とは」をご覧ください)

それぞれの特徴がありますので、詳しくは以下と次ページをご覧ください。

認定こども園

認定こども園は、幼稚園と保育園の機能や特長を併せ持ち、地域の子育て支援も行う教育・保育施設です。お子さんの年齢と保育の必要性に応じた認定(1号～3号のいずれか)を受けるための申請が必要となります。公立と私立があります。

- 1号認定 満3歳以上、4時間程度、幼稚園のような利用
- 2号認定 満3歳以上、「保育を必要とする事由」に該当すること、上限11時間又は8時間、保育園のような利用
- 3号認定 満3歳未満、「保育を必要とする事由」に該当すること、上限11時間又は8時間、保育園のような利用

満3歳以上のお子さんは、1号認定のお子さんも2号認定のお子さんも、それぞれ利用時間に違いはありますが、一緒に過ごして教育や保育を受けられます。「保育を必要とする事由」は、各園にある入園申し込みのしおりでご確認ください。

認定こども園、保育園、幼稚園等の一日の流れ

	7:00	8:00	9:00	10:00	11:00	12:00	13:00	14:00	15:00	16:00	17:00	18:00
認定こども園	1号認定	8:30 登園	9:00～11:30 教育活動	11:30 お昼ご飯	13:00 降園準備	14:00 降園						
	2号認定 3号認定	7:00 開園 8:30 早期保育登園	9:00～11:30 教育・保育活動	11:30 お昼ご飯	13:00 おひるね	14:00 休憩	15:00 おやつ	自由遊びなど	16:30 順次降園 (保育短時間)	18:00 順次降園 (保育標準時間)		
保育園・小規模・事業所内保育施設等	2号認定 3号認定	7:00～9:00 登園 健康観察	10:00 おやつ	10:15～11:30 保育活動	11:30～12:30 お昼ご飯	12:30～15:00 おひるね	15:00 おやつ	健康観察 自由遊びなど	16:30 順次降園 (保育短時間)	18:00 順次降園 (保育標準時間)		
	幼稚園	8:00～9:00 登園	9:00～11:30 教育活動	11:30～12:30 お昼ごはん (お弁当又は給食)	13:30～14:00 帰りの準備	14:00～16:00 降園						

保育園

0～5歳のお子さんを対象として、就労などのために、ご家庭で保育のできない保護者に代わって保育を行う施設です。家庭や地域社会とともに協力しながら、豊かな人間性を持った子どもを育てます。

幼稚園

3～5歳のお子さんを対象に学校としての教育を行い、基本的な生活習慣、豊かな心情や思考力を養い、意欲や思いやりのある幼児を育てます。

小規模保育施設

少人数（定員6名～19名）の0～2歳のお子さんを対象に、家庭に近い雰囲気のもと、きめ細かな保育を行います。

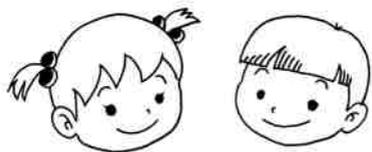
事業所内保育施設

企業や病院内に設置された保育施設で、従業員以外の子どもに対しても預かり保育を行います。（従業員の子どものみを対象とする保育施設は、認可外保育施設に分類されます。）

認可外保育施設

市が認定した保育施設以外の保育施設を総称して認可外保育施設といいます。認可保育所と同じく通常の保育を行う施設、一時預かりを主とする施設、企業や病院などの従業員の子どものみを対象としたものなど、様々な形態があります。

※入園申し込みについては、毎年「広報しずおか 静岡気分9月号」に掲載されています。詳細については、各区の子育て支援課にお問い合わせください。



お問い合わせ先

- 【葵区】 葵福祉事務所 子育て支援課 入園係
静岡庁舎新館2階 電話：054-221-1095
- 【駿河区】 駿河福祉事務所 子育て支援課 入園係
駿河区役所2階 電話：054-287-8673
- 【清水区】 清水福祉事務所 子育て支援課 入園係
清水庁舎1階 電話：054-354-2358

園でどんな支援が受けられるの？

公立こども園では、集団保育が可能であり、障がいや発達に気になるところのあるお子さんを受け入れ可能な範囲で受け付けています。各歳児、入園予定数（継続児を含む）のおおむね15%の特別枠を設け、各園で受け入れをしています。また、集団保育が可能な医療的ケア児の入園を受け付けています。

4月からの入園を希望する場合、前年の10月上旬に入園申し込みが必要になりますが、満3歳以上で集団生活するうえで配慮が必要なお子さんの場合、事前に園での体験保育及び医師による面接の実施などが必要となりますので、各市立認定こども園、又は各区子育て支援課入園係までお早めにご相談ください。園の入園予定数の状況によっては、希望園での受け入れができない場合があります。また、面接等による判断の結果、受け入れができない場合があります。

2歳以下のお子さんは、お子さんの成長の状況や希望園の保育士配置状況等により入園が保留となる場合がありますので、あらかじめ希望園、又は各区子育て支援課までご相談ください。

私立の園については、各園にお問い合わせください。

（参考資料 2022静岡市子育てハンドブック P.43～48）

公立こども園の場合、クラス内に担任以外の支援の先生が配置されることがあります。必要に応じ、お子さんのサポートプラン（個別支援計画書）を作成し、支援をしています。私立の園の場合、各園の状況に合わせて、対応をしています。

また、専門家が園に巡回し、相談を受けることもあります。詳しくは、所属の園にお問い合わせください。

体験談



Aさん 私立幼稚園

①これは年長になってからですが、1日の予定がわかるように、毎朝先生が教室の壁に1日の予定表を書いてくれました。それを朝一緒に見て、今日はこういうことをするんだと前もって知ることが出来、落ちついて行動することができました。

②初めてのことが毎回不安で、最初から参加をすることが出来なかったのですが、運動会の練習やお遊戯などもまず皆がやっているのを見てから少しずつ参加できるように、もっていって来ていました。



Bさん 私立幼稚園

市立の園では母が働く必要があり、他の療育との両立が難しく、生後間もない子供もいたことから、私立を希望しました。

個別に園に連絡を取り、入園可能か問い合わせました。何件かの園は加配が付けられず断われましたが、年一回の診断書があれば加配が可能と説明のあった園に入園。入園当初は立ち歩きがありましたが、椅子などで活動時の居場所を具体的に定めたり、絵カードで見通しをつきやすくする等、視覚支援にも積極的な園でした。加配の先生には、活動時の切替、手の不器用さのフォローなどを個別に受けました。どんな様子が園生活を送れているか、どのような支援をしているかを、逐一親に伝えてくださり、就学決定の際にも大変参考になりました。

☆公立こども園加配の体験談は66ページの「マイストーリー3 知的支援学級 小学4年生」を参照ください。

ペアレントメンターのつぶやき

あるある

幼稚園・保育園編

入園したばかりの頃は、教室に着いて母が帰ろうとすると、母への後追いが強かったが、慣れた途端、担任と話しをしているのに教室から押し出されるようになった。

周りの事はお構い無しだったのに、独り言で突然友達の名前を言ったので、母は舞い上がり、夕飯を作る手が止まった。

参観で、男の先生にもたれかかってまったりしている姿を見て、父に対してまったりする事は無かったので、信頼を得るコツを聞きたくなった。

園の夏祭りで、ヨーヨーを浮かべてあるタライを見つけ、実家で水遊びをしたタライと同じ物だったため、服を脱ぎながら近づいて行ったので慌てて捕まえた。

運動会で、親子で輪っかのゴムに入り、電車になっての障害物競走、子供が爆走して母との間が2メートルくらいあいてしまいゴムが切れてしまうかもと思い母も必死で走り、笑いをとった。

入園式の写真は、うちの子だけ捕獲状態で抱えられている姿で写っていたが、卒園式の写真は1人で座っている写真。

保育園の生活発表会当日、舞台から「ちゃあちゃん（お母さん）来てよ！」の息子の声。私も舞台上がって一緒にお遊戯。今その時の写真を見ると、何故かほっこり。

ホテルの大浴場に入るとき、浴場で付き添う係、脱衣所で待機する係（裸のまま廊下まで走って行ったときに追いかけるため）を配置した。

障子の無い部屋を予約した。

